

さいたまスクールダッシュボードNEWS

Vol. 3 2024.03

さいたま市立教育研究所

教師の本気の挑戦 ～スクールダッシュボードを活用する教師の声～

1月より、スクールダッシュボードのテスト運用が始まり、2月からは、子どもたちの毎日のアンケートへの入力も始まっています。

スクールダッシュボードの活用による子どもたちへの支援をさらに充実させていくために、様々な研修を実施しています。

さいたま市の教師の意識は高い！

令和5年9月下旬より、教師は、動画研修、オンライン相談会、フォローアップ操作研修など、様々な機会を通じてスクールダッシュボードへの理解を深めています。これらの研修会等でおもに話題となった質問や感想を御紹介します。

3つの動画研修
視聴回数
合計7211回

【研修会や相談会で話題となった質問と回答～教師の声～】

Q：朝の会で子どもが「おはようメーター」を入力し、教員が健康観察を実施します。その際、子どもたちが入力する時間の確保に悩んでいます。他校で実践している様子を教えてください。

A：例えば、令和4年度研究開発協力校（本システムを構築する前に行った実証検証の協力校）の高学年では、登校した子どもからタブレットを起動してアンケートに入力するよう指示を出しておき、朝の会開始前までに入力を完了させていました。最初は教師の指示は必要になりますが、子どもはすぐに入力に慣れます。

Q：スクールダッシュボードはどのような場面で活用すると、効果的ですか。

A：例えば、声に出せない子どもたちの心の状況や学習への理解度等を把握するために活用することが効果的です。これにより、子どもたちに対する適時適切な支援が可能となります。また、これまで、子どもたちの情報を共有するための資料を作成する時間の削減にもつながります。

Q：スクールダッシュボードに表示される内容は、すべて個人情報であるが、使用する際の留意点等を教えてください。

A：教師が教室等でスクールダッシュボードの画面を開いた状態で端末から離れたり、教師がアカウントやパスワードを入力する際、見られたりすることがないように留意してください。

さいたま市
教育データ可視化システム

動画研修① これからの教育データ活用

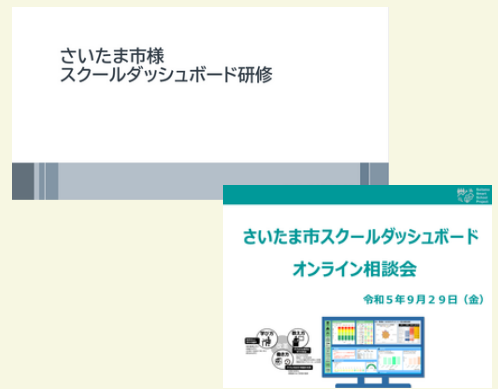
さいたま市
教育データ可視化システム
動画研修2 データ活用シーン

さいたま市
スクールダッシュボード
動画研修3 操作説明

前半 スクールダッシュボード全般操作紹介

【研修会や相談会で話題となった感想～教師の声～】

- ・スクールダッシュボードは、紙媒体よりも便利で使いやすい。
- ・データの分析や方法など、統計について学びたい。
- ・教師の授業の振り返りとして活用できる。
- ・担当教科（国語）と他教科（理科など）とを比較しながら子どもの実態を把握できる。
- ・何をやったか、何を理解できたかをすぐに見返することができる。
- ・将来的には子どもが自分のデータを活用できるようになってほしい。



教師が利活用しているスクールダッシュボード画面（一部）

サマリー SOS 推移 生活・学習 学校ボード サマリー画面（デモ画面）...

子供の声（過去7日間）

- ・自由記述SOSが発生した生徒が **1人**います。（前7日間比 -1人）
- ・おはよう・あすなるメーターでネガティブ回答をした生徒が **72人**います。（前7日間比 -12人）
- ・授業アンケートでネガティブ回答をした生徒が **17人**います。（前7日間比 +-0人）
- ・おはよう・あすなるメーターでポジティブ回答をした生徒が **199人**います。（前7日間比 -3人）
- ・授業アンケートでポジティブ回答をした生徒が **33人**います。（前7日間比 +1人）

出欠状況

- ・月内欠席3日を超えた生徒が **5人**います。（前7日間比 +4人）
- ・年度内欠席15日を超えた生徒が **14人**います。（前7日間比 +-0人）

さいたま市立スクールダッシュボ... 学級を選択してください

学年	学級	児童生徒数 (人)	ネガティブな情報			健康生活			おはよう・あすなる		自由記述		授業		自由記述	
			長欠 (人)	保健室利用 (回)	睡眠不足 (人)	朝食欠食 (人)	総回答数 (回)	ポジティブな回答 (%)	総回答数 (回)	ポジティブな回答 (%)	総回答数 (回)	ポジティブな回答 (%)	総回答数 (回)	ポジティブな回答 (%)		
小1	1年1組	30	2	2	1	1	20	65%	72	94%						
小1	1年2組	30	1	7	2	1	18	44%	78	91%						
小1	1年3組	30	0	5	1	0	15	40%	64	98%						

スクールダッシュボードは、サマリー、SOS、推移、生活・学習の4つの画面が用意されています（画面一番上青枠）。今回は、「サマリー」画面について、紹介します。

「サマリー」とは、全体を俯瞰して見る画面です。（赤枠を参照）

画面左上の子どもの声と右上の出欠状況の欄には、注意が必要な情報をSOSとしてまとめて表示しています。忙しい教師がすぐに子どもの状況を把握できるよう、短い言葉と色で強調して表示しています。

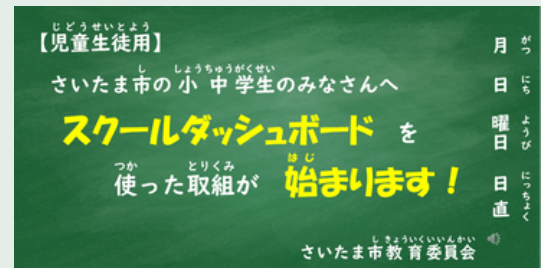
画面下は、各学級の状況がわかるよう、各種データを一覧で表示しています。学級担任、管理職等が常に情報を共有できるようにしています。

コラム

子どもたちも動画を視聴！スクールダッシュボードとは・・・

子どもたちは、各学校でテスト運用2期の開始と合わせて、スクールダッシュボードについての動画を視聴し、理解を深めました。

動画は、「スクールダッシュボードってなんだろう」、「どんなことができるの？」等について説明されています。教師が利活用するダッシュボードへの理解、個人情報利用目的、どのような情報を使って支援が行われるのかを知ってもらうことを目的としています。



次号では、スクールダッシュボードのテスト運用の成果と課題、本格運用に向けての展望についてお知らせします。

さいたまスクールダッシュボードNEWSでは、さいたま市が進めるスクールダッシュボードが、どのように活用されていくのか、さらには、子どもたちの学びや学校の授業をどのように変えていくのかをお知らせしてまいります。

皆様からの御意見・御感想をお待ちしております。二次元バーコードからお願いします。



御意見・御感想はこちら